

5月12日生活科学科2年調理実習で、前号で紹介したかんぼの宿赤穂の川原正巳料理長に来ていただき、「肉じゃが、肉巻き、大葉とトマトの和え物」といった一般的なお弁当のおかずになる料理を作りました。新型コロナ感染拡大により、実習の人数を半分で実施していたのですが、全員で役割分担しながらの実習は初めてだったようです。段取りも最初はうまくいかなかったようですが、料理ができあがる頃にはうまく機能しだし、実習風景を見て、これが調理実習という感じがして良かったです。本来の姿に戻りつつありますが、実習後の試食はマスクを外すので、調理台での試食の人数を減らすなど工夫をしながら進めて行っています。プロの料理人の手さばきを見て、感じるものもあると思います。食に関するスペシャリスト目指して頑張っていきたいと思います。



5月14日は中間考査初日です。1年生にとっては初めての考査です。2年生は文系、理系に分かれての考査、3年生にとっては推薦資料のもととなる成績に関わる考査です。それぞれの学年で受け止め方も違うでしょうし、県総体前部活動を継続しながらの部もあったかと思えます。何のための試験勉強かをしっかりと考えて頑張してほしいと思います。そして、体育館では3年ぶりのPTA総会を実施しました。新型コロナ感染拡大防止の観点から中止にしてきた2年間ですが、今年は世の中も動き始めていますし、しっかりと感染防止対策をとりながらの実施とさせていただきます。多くの保護者の方々に関心を持っていただき、多数参加していただきました。総会の後、1、2年生はライセンスアカデミーから大久保陽造氏に来ていただき、保護者目線での進路の考え方についての講演をいただきました。講演の後は、学年毎に学年懇談会を持ちました。3年生は全体会をもち、今後の入試・就職試験の予定や免許取得やアルバイトについての理解を求めた後、神戸セミナーの喜多徹人氏に来ていただき、入試、就職に関わる話をしていただきました。「就職は目を見て話ができ、元気であれば大丈夫。これからは工夫の時代。自分で考えて行動し、生み出すことができるようになれば良い。」という話でした。マニュアル通りに進むことは、たいていは機械がするようにになるので自分で考えて行動できるようにならないと企業は必要としないと言われていました(写真右)。別の教室では専門学校、看護系、就職と希望に応じた話を聞いていただきました。さらにその後はクラス懇談会で、ご意見を伺いました。足下の悪い中、多くの保護者の方々に参加していただき、ありがとうございました。いただいたご意見等含めて今後活かしていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。



5月16日からは中間考査後半戦。考査が明けると県総体に向けて準備が進んでいきます。考査中も練習をしている部活動もあろうかと思えますが、この練習の意味、そして考査の勉強の意味をしっかりと考えてください。何のための練習か、何のための勉強かを自分自身が理解できなければ、「しんどい」だけで終わってしまいます。「しんどい」ことは人間誰も避けたいので、気持ちのこもった状態にはなりません。当然のことながらそのような状態では結果は見えています。結果を残し、充実感を得る、達成感を得るために自分がどのように行動すれば良いか考え、より具体的な行動をとれるようにしていきましょう。自分で考えて行動したことには自分自身で責任をとれます。それが18歳で成年を迎える皆さんには必要なことだと思います。1、2年生は考えて行動することで「責任感」をしっかりと身につけて成年の準備をしましょう。3年生は、間近に迫った成年に対して責任を持って対処できるよう保護者、先生方とよく話をして準備を進めてください。



5月も後半戦。新型コロナの新規感染は横ばい状態が続いており、今後の状況が読めませんが、各自でできる感染防止対策をしっかりととり、教育活動を止めないよう、自分たちの活動を止めないよう頑張りましょう。

ご意見等含めて今後活かしていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

5月も後半戦。新型コロナの新規感染は横ばい状態が続いており、今後の状況が読めませんが、各自でできる感染防止対策をしっかりととり、教育活動を止めないよう、自分たちの活動を止めないよう頑張りましょう。

5月も後半戦。新型コロナの新規感染は横ばい状態が続いており、今後の状況が読めませんが、各自でできる感染防止対策をしっかりととり、教育活動を止めないよう、自分たちの活動を止めないよう頑張りましょう。